

広報 **ふじ** NO.235

発行・富士市役所
 富士市永田61-1
 編集・
 企画調整部広報広聴課
 【毎月5日と25日発行】

52.9.25 発行



“長寿、おめでとう 18地区で敬老会 富士一は甲田かめさんの102歳

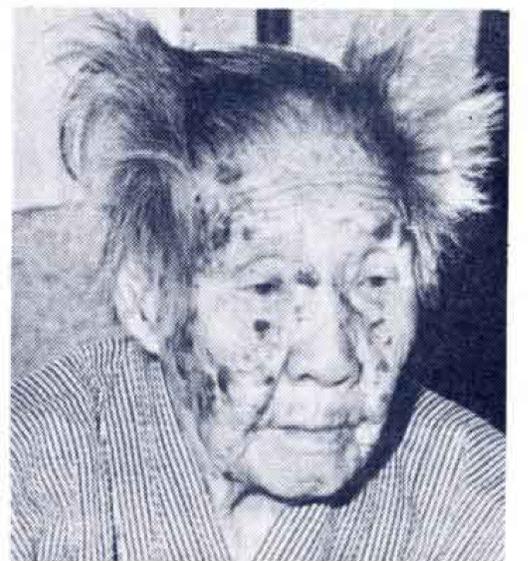
9月15日は「敬老の日」。市ではこの日を中心に市内18地区が市福祉センターや太洋観光などを会場に敬老会が開かれ、永年にわたって社会に貢献してきたおとしよりたちを敬い長寿を祝いました。ことしの長寿富士一は、昨年と同じ市内今井本町の甲田かめさんで明治8年6月2日生まれの102歳です。また市内伝法3丁目の神田こうさんは、明治8年11月7日生まれの101歳で100歳以上はこの2人だけです。渡辺富士市長

は9月8日甲田さん宅を、9月14日には神田さん宅をそれぞれ表敬訪問し「健康でいつまでも長生きしてください」と記念品の座ブトンやポンチョ（ポンチン）、祝金を贈り長寿を祝い記念写真を撮りました。お二人ともとても100歳とは思えない元気で少し耳が遠いぐらい。食事も家族と同じものを食べているという長生きの秘けつは、よく寝ることと余りくよくよしないことのような

【写真・敬老会場の福祉センターで長寿を祝う渡辺市長】



甲田かめさん



神田こうさん

昭和53年度富士市職員を募集

申込受付期日10月1日～10月18日まで

富士市では、昭和53年度の職員を次の要領で募集します。

▶採用職種及び人員

- ・一般事務職員 15名
- ・保母職員（保育園） 21名
- ・保母職員（施設） 5名
- ・技術職員（土木） 1名
- ・技術職員（建築） 3名
- ・技術職員（電気） 2名
- ・消防職員 5名

▶受験資格

- ・昭和53年3月学校教育法による大学、短大又は高校を卒業見込みの者。（ただし、一般事務職員は昭和51年3月以降卒業した者を含む）
- ・技術職員については、それぞれの専門を専攻している者。

▶申込方法

受験申込書（人事課に用意してあ

ります）に記入して人事課（市庁舎8階）へ申込んでください。

▶申込受付期日

10月1日（土）から10月18日（火）まで。

▶試験予定日

10月23日（日）

▶問合せ先

企画調整部人事課（電話51-0123 内線518番）

生活環境をよくするために 「緊急整備事業」を推進

1件について5万円以内で

住民の生活環境を良好な状態に保つため、地域住民から環境の整備、改善などについて要望があった場合

これらの内容および規模や緊急性を考慮して予算の範囲内で迅速に処理し、市民生活の安定をはかる目的として、ことしの5月1日から市役所2階の市民相談室に「生活環境緊急整備事業」の窓口を開設しています。開設以来、5カ月を経過しましたが、すでに46件を処理しており、住民からの要望の大半は、側溝の甲ブ



タ設置と道路舗装の一部補修などなっています。この事業は、あくまでも小規模かつ緊急に処理を要する

ものとし、その経費（予算）は1件について5万円を限度としています。要望の受付は市民相談室（企画調

整部広報広聴課）で行っていますが住民から要望を受けたときは、内容、規模などをつかむため、速やか

に現地を調査し、この事業に適合するか否かの内容を審査、適当と認めるときは、関係部課と必要な事項を協議し、市内業者に指定して工事を進めていくことになっています。

【写真・住民から要望のあった側溝の甲ブタ設置箇所】

あて名は正確に ハッキリ書く

吉原、富士郵便局では、番地がない、読めないなどで全国で毎日400万通もの迷子郵便があります。かならず郵便番号、あて名および差出人の住所、氏名をくわしく正確に書いてください。

気軽にお出かけを 「無料法律相談」へ

10月1日は「法の日」です。この法の日を中心にいろいろな行事が開かれます。裁判所、検察庁、弁護士会では、10月8日（土）午

前10時から午後3時まで市役所2階市民相談室で無料法律相談を開設します。相談担当者は、富士、富士宮市

在住の弁護士と裁判所職員が当りまた相談内容は、土地、建物、金銭の貸借、商事取引、交通事故、親子、相続などとなっています。これらの問題で困っている方は気軽に相談にお出かけください。

10月1日から国保の 「被保険者証」がかわります

富士市国民健康保険の「保険証」が10月1日から変わりますので、新しい「保険証」を9月末日までに郵送いたします。従って前の保険証は10月1日からは使用できませんので10月1日以降、医療機関にかかる場合、または現在かかっている方も新しい「保険証」を医療機関の窓口に出してください。

こんなときは必ず届出を

次のことがあったときは、14日以内に市民課で手続きをして下さい。

こんなとき手続きを		手続きに必要なもの
はいる場合	転入してきたとき 職場の健康保険をやめたとき 子どもが生まれたとき	印かん 印かん、職場の健康保険をやめた証明書 印かん、母子手帳、被保険者証
やめる場合	転出するとき 職場の健康保険にはいったとき 死亡したとき	印かん、被保険者証 印かん、両方の被保険者証（職場の保険証が未交付のときは証明できるもの） 印かん、被保険者証
その他	市内で住所が変わったとき 世帯主や氏名が変わったとき 被保険者証をなくしたとき	印かん、被保険者証 印かん、被保険者証 印かん

“夢がいっぱい、” 市内小中学校科学作品展

富士市小中学校児童、生徒の科学作品展がこのほど吉原市民会館で開催されました。この作品展はことして第11回目をむかえ年ごとにすばらしい作品が目立ってきました。出品点数は小学校が290点、中学校が140点の計430点が会場いっぱい飾られ、連日、お父さんやお母さんたちでにぎわいました。とくに小学校の作品は、ひまわりや朝顔、ヘチマなどを



観察したものと、昆虫の標本類が多く、また中学校の作品では、紙の染色をはじめ物質の膨張、水のしみ込み方、光の合成などくわしい説明つきで、大人顔まけの力作が多く見られ好評を呼びました。



寄贈の「楠の木」を 柳島公園に植樹

市民の憩いの場、柳島公園にこのほど楠の木(市の木)3本を植樹しました。これは、日本勧業角丸証券富士支店が社会奉仕のために市に寄贈したもので、3本とも長さ約5m、目通り周約40~50cm(約15万円相当)もの早速、渡辺富士市長および鈴木支店長が植樹を行いました。

「心のともしびよせあおう」

10月1日から
10月31日まで

福祉を育てる県民運動はじまる

ことしもまた「たすけ合う心が育てるみんなの福祉」を合言葉に10月1日から10月31日までの1カ月間にわたって「福祉を育てる県民運動」が行われます。これは、県民ひとりひとりが、福祉を自分のこととして考え、理解を深め、それぞれの立場でたすけ合い、力を合わせて、うるおいのある福祉社会を築いていこうとする県民運動で、ことしで3年目を迎えました。富士市と富士市社会福祉協議会ではこの運動の強化月間である10月中には、各地域でいろいろな催しがありますが、皆さんも是非その催しに進んで参加し、福祉についての理解を深めて下さい。

心豊かで、うるおいのある、福祉の風土づくりのために、一体私たちはどうしたらよいのでしょうか。それは、私たちの身の回りから、誰にでも本来そなわっている「思いやり」の心から始まる「小さな親切」ともいべき奉仕活動です。この頃は、ボランティア活動といわれておりますが、それは決して、むづかしいものでも特殊な人だけが行う活動でもありません。老若男女を問わず、誰でもみんな家庭や施設や町内のどこ

でもできるのがボランティア活動です。10月はまた共同募金運動も始まります。赤い羽根をつけることだけでも、あなたは立派なボランティア

です。皆さんが1人でも多く、何らかのかたちで積極的にいろいろボランティア活動に参加されることを望んでおります。

消費生活モニター

指定野菜7品目を調査

価格は当分の間、値上りの傾向

富士市消費生活モニターは、このほど指定野菜14品目の中から7品目（キャベツ、トマト、だいこん、きゅうり、なす、ねぎ、ほうれん草）をえらび出し、鮮度、品質、価格について野菜の調査を行いました。

（良い）B（普通）C（悪い）の三段階に選別し、立合った専門家に検討してもらいました。

野菜のえらび方のポイントは、次のようです。

- 〈キャベツ〉 大きさのわりに重く、やわらかいもので、さわるとパリッとハリのあるもの
- 〈なす〉 黒くて、つやのあるもの。
- 〈だいこん〉 色白で、すべすべしたツヤのあるもの。日がたつと首が上ってくる葉を切ってみて空洞のあるものにはスが入っている。
- 〈ねぎ〉 弾力がありパリパリしたもの。



消費者にとって、日常欠くことのできない生鮮食料品については、鮮度や品質、価格などが不安定なため調査しにくく特に今回は5月から隔月に特別班を編成して追跡調査を行ってみました。この調査には、東部農業改良普及所や富士市公設地方卸売市場の専門家が立合いました。調査は、消費生活モニター22人が日頃買物をしている近所の八百屋から、指定された7品目を午後1時を合図に購入、その物を一カ所（吉原市民会館）に持ちよって集合調査しました。集合調査では、モニターが自分たちの目で鮮度、品質をそれぞれA

〈きゅうり〉 先をさわると固く、イボのとがっているもの。

〈ほうれん草〉 みずみずしく、やわらかいもの。

〈トマト〉 はりのあるやわらかいものがよい。オムスピ型はよくない。

価格は、平均価格、高値、安値にわけ、第1回目の5月の調査にくらべ第2回目の7月の調査では、ほうれん草を除き他の6品目はすべて値下りをみせています。これは、地場物が出まわったもので、第3回目の9月の調査では、8月の長雨にたたられ7品目とも値上りの傾向にあり、今後も値上りは続くものとみられています。

第12回

緑と花の 百科展

▷とき 10月9日(日)
午前8時～午後3時

▷ところ
市役所北側駐車場

▷内容 植木市、緑と花の
相談所など

学園ひろば

精神薄弱児施設「ふじやま学園」

ことは開設10周年記念

富士市に精神薄弱児施設「ふじやま学園」が開設されて10年の歳月がたちました。市民の善意の結集であるハートビル運動がもりあがり、その結果、大淵の高台にふじやま学園が誕生したことは当時また関係者にとってすばらしい出来ごとでした。

現在、小学校1年生から中学3年生までの50人の子どもたちが身辺自立の習得に、あるいは学習にと、親元を離れ職員と寝食を共にしてがんばっています。ことしの11月には、学園で開園10周年の記念行事を行うべく計画をすすめています。学園に入園してくる子ども達は、いろいろな原因から精神の発育がおくれ、食事排せつ、衣類の着脱、入浴など人間が生きていくための基本的生活習慣の処理すなわち自分の身の回りのことが仲々うまくできない子どもたちです。学園では、毎日の日課を通して、この子ども達の情緒の安定を図りつつ起床時のフトンたたみから、

着衣、歯みがき、洗面と普通の子どもであれば容易にできることがらについての指導が続けられています。食事ひとつをとってみても、よくご飯をこぼす子、ハシをうまく使うことができず、つい手がさきにてしまう子どもなどさまざまな場面でその都度指導して行かなければならないことが沢山あります。身辺、自立面のみでなく学習面においても地元大淵中学校及び大淵第二小学校に学籍をおく施設内特殊学級として8人の派遣教員により10人前後の少人数でクラス編成をし、おのおの子ども達の能力に応じた教育内容を折り込みながら、授業を行っています。そして素直で明るく、しかも



正しい生活習慣を身につけた子どもに育てることを目標として掲げています。健康面についても、市立富士中央病院をはじめ市内の精神科医及び歯科医とも連携を保ちながら管理に細心の注意を払うとともに、いろいろな行事を組み入れて子ども達の発育の向上と社会性のかん養につとめています。

なお、この10年間に学園を卒園した子どもは54名に達し、中には直接

社会に出て働いている者も数名あり、それぞれの職場にあって一生けんめいがんばっています。仕事の内容は単純でも一般社会人に混って黙々として働く姿は、安堵と障害

者福祉の理想を感じるものであります。おわりに指導は早ければ早いほどその子どもの幸せにつながります。施設入所のご相談は市福祉事務所福祉課(51-0123 内線234)又はふじやま学園(35-0313)にいつでもおでかけください。

私が見た富士市⑤



吉原1丁目
渡辺洋子

吉原駅からバスで5分の所に名勝左富士の史跡があり、伝法や富士駅周辺には芭蕉の句碑があると聞く。

昔、宿場町として栄えた富士市を、広重や芭蕉はどんな思いで通ったのであろうか。

当時も富士山は今と変わらず、様々な表情を旅人に投げかけていた

に違いない。ところで現代の富士市には、富士山について世界に有名なものがあるそれは田子の浦港である。田子の浦港は数年前には、ヘドロで有名になり、当時は英字新聞にも毎日顔を出すほどで、これでは世界に知れてしまうと故郷が心配になったのを覚えている。しかしさにあらず、富士には素晴らしいネエルギーがあった。10年もたぬうちに、いろいろもめたらしいが、ヘドロも緑地公園などに利用され、喘息も少しずつ減ってきていると聞く。町で時々外人の船員さんを見かけるが、港も年々利用が増えて

いるようだ。港はまた県内随一の工業都市の顔でもある。今後は20万市民の働きが、港の景気にも反映されていくだろう。それを今後、核になって支えていくのは、全国から富士市に集まった若者であり、都会からUターンしてきた若者である。今夜も富士見台から見下ろす富士の町は昼のごとく明るい。富士市が世界に伸びてゆくのはあと何年先のことであろうか。私の富士市は、たくましい工業の町である。

「赤い羽根」を胸につけよう

10月1日から助け合い共同募金

昭和52年度国民たすけあい共同募金は、ことしも10月1日から12月31日まで行われます。富士市のことしの目標額は1,100万円（前年度実績額1,294万円）で募金方法は、次のとおりです。

◆町内募金

9月1日現在、被保護世帯を除き一世帯当たり100円割合で町内会長に依

頼します。

◆特志募金（小口法人を含む）

民協各地区ごと民生委員が担当町内の有志や小口法人を訪問して募金を受けます。このほか大口募金および街頭募金についても例年どおり実施する予定です。市民1人でも多く赤い羽根を胸につけてください。

昭和51年度国民たすけあい共同募金運動につきましては、市民のみなさま方の理解あるご支援とご協力をいただき立派な成績をあげることができました。みなさま方からご寄付いただいたこの尊いお金は、下記の

とおり生活の困難な人々の生活援助児童の健全育成のための児童の遊び場の設置助成、地区敬老会助成などへ贈られ、明るい住みよい地域社会建設のために大きな力となっています。

共同募金ありがとうございました

51年度の実績額 1,294万円

＝昨年度の実績＝

- ▶募金実績額 12,945,610円
- ▶募金内訳 町内募金 4,896,140円
特志募金 5,770,960円
大口募金 2,113,150円
街頭募金 165,360円
- ▶県共同募金会より当市施設(私立)配分金内訳
- ①養護施設 ひまわり園 600,000円
誠信少年少女の家 150,000円
岩倉学園 350,000円
- ②特別養護老人ホーム

- 楽寿園 700,000円
- ③児童厚生施設
児童の遊び場設置助成 7カ所 265,000円
- ④私立保育園
ひな保育園 200,000円
愛生保育園 200,000円
伝法保育園 200,000円
- ⑤社会福祉協議会福祉活動振興費 7,520,610円
(この配分金にて下記の事業を実施しました)

科目	金額	施設援護費	2,000,000円
児童福祉費	353,000円	児童遊び場援護費	465,400円
		高額療養費	1,000,000円
老人福祉費	2,219,950円	法外援護活動費	812,562円
		募金諸費	369,698円
身障福祉費	300,000円	計	7,520,610円



民生委員のしごと

現在、市内には厚生大臣の委嘱を受けた185人（うち婦人59人）の民生委員がいます。民生委員は、常に社会福祉の発展のために、いろいろな活動をしています。民生委員の活動の主なものは、次のようなことです。

- ①担当区域に住む人の生活状態を把握し、必要に応じ生活上の助言指導。
- ②要援護が必要な人たちに対する適切な指導。
- ③福祉行政機関の仕事への協力。
- ④心配ごと相談所の相談員。
- ⑤共同募金、歳末助け合い運動への協力。

また、民生委員は、人柄がよく、地域に住む人たちの暮らしぶりに明るく、社会福祉増進に熱意のある方ばかりです。生活上のことで困っている方や心配ごとのある方は、もよりの民生委員に気軽に相談し、助言指導を受けたいかががでしょうか。

また「心配ごと相談」は、毎週月曜日午前10時から午後3時まで市役所2階の市民相談室で開いております。

【写真・心配ごと相談に応じる民生委員】



<黒煙をあげる車輛火災>



<防災ずきんをかぶり避難する子どもたち>

“本番さながら”の総合防災訓練 規模では全国で初めて

9月4日(日)市役所周辺を主会場および田子の浦港周辺を第2会場として大がかりな総合防災訓練が行なわれました。この防災訓練には国、県、市の17の関係機関と31の関係団体および各町内ごとに実施した自主防災訓練に、地域住民約10万5千人が参加して、万一の「東海沖地震」に備えました。

この日、駿河湾内にマグニチュード8.4の地震発生を想定し、午前7時のサイレンを合図に防災訓練が開始され、防災頭巾をかぶり、避難袋を背負った市民がぞくぞく指定避難場所に避難する長だの列が続き、町

内ごとに行なわれた自主防災訓練に懸命なまなざしで参加していました。

また、陸、海、空の自衛隊員575人とヘリコプター12機船艇10隻も加わり、航空偵察、仮橋架設、航空機による負傷者の救出と応急救護、海上輸送などじつに手際よく行われ、日頃の訓練成果を見せてくれました。

このほか地震発生時に予想される災害に対応した訓練(道路啓開、水防工法、ビル火災、油火災、オイルフェンスの展張り、炊出しなど)も本番さながらの状況で行われました。



<救護班の応急救護>



<ヘリで負傷者を救助>



<石油基地で油火災>



<自衛隊員の仮橋架設>



<婦人会員の炊出し>

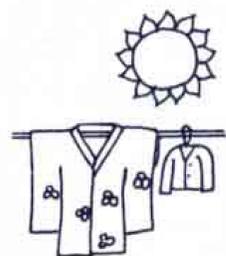
くらしのちえ

●きもの手入れ

秋は、きものおしゃれを楽しみたい季節です。着たあとの手入れをきちんと……。まずぬいだら和服用のハンガーに掛けて2~3時間カゼに当て、きものに含まれている湿気や、からだのぬくもりを取り除きます。ぬいですぐたたむと、布地が黄ばんだり、カビの原因になりやすいもの。風通しをしたら、ピロードの布で布目にそいながらホコリを落します。この布で拭くと、きものにツヤもでてきます。衿山、袖口、すそはベンジンで拭き取ってください。ドロはねは、よく乾かしてからブラシをかけ、軽くもんで落します。手入れがすんだら、きちんとたたんで、たとう紙に包み、衣装箱かタンに。防虫剤は、紙に包んで入れること。金糸や銀紙の刺しゅうの上に直接おくと、化学変化をおこして黒ずんでしまうのでご注意ください。



ょう。カラになった引出しや衣装箱は、中をきれいに掃除して、隅にたてかけて風を通します。干す時間は



午前10時~午後2時ごろまでが最適。風がよく通り抜けるよう窓はあけ放しておくこと。干しながら

衣類を点検して、シミや汚れがあるときは手入れを。軽いカビはブラシをかけ、衿アカなどはベンジンで拭いてください。食べカスのシミは中性洗剤でおとします。干し終わったらブラッシングして、特にシワが目立つものはアイロンかけを。しもうときは防虫剤と防湿剤を忘れずに。

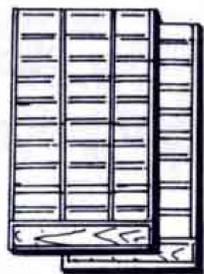
●障子の張りかえ

秋の気配を感じたら、さっそく障

子の張りかえを。コツさえのみこめば意外に簡単です。

①下準備……まず古い紙をはぎ、スポンジかハケに水を含ませて、裏側から棧と枠の部分に充分ぬらしておきます。下段から順にはがし汚れを落とし、よく陰干しを。

②上手な張り方……紙の合わせ目にホコリがたまらないよう、必ず下から張ります。障子をさかさ立て、うすくといた糊をハケでたたきよにつけ紙は巻いたままで左にころがしながら張り、左端はモノサシをあててカッターで切ります。最後に霧を吹いて仕上げます。乾くとピンとなります。



第7回 市福祉展

10月¹⁸/₁₉日・文化センターで開く

第7回市福祉展が10月18、19日の2日間、富士文化センターで開かれます。この福祉展に出品される作品は、書、絵画をはじめ写真、和歌、俳句、木工品、竹細工、手芸、盆栽などです。出品者は、市内に住んでいる60歳以上のおとしよりと身体障

害者、精神薄弱者、未亡人で当日は日ごろ丹精をこめてつくった力作ばかりが展示されます。なお作品のしめきりは、10月11日までです。早目に市福祉事務所社会課、社会福祉センターへ申込んでください。

●虫干しのしかた

10月の半ば過ぎ、いくらか風のある晴天続きの日をえらんで干してください。洋服はハンガーに、和服はひろげてロープにかけるといいでし

10月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください

■10月2日

外科 宮下医院(平垣 61-0376)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■10月9日

外科 榎村医院(柚木 63-8881)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■10月10日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■10月16日

外科 松本医院(久沢 71-2570)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 谷医院(八幡町 61-0039)

■10月23日

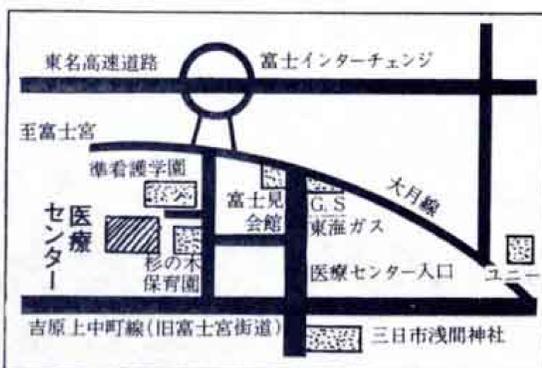
外科 中央病院(本市場 61-8800)
清河医院(広見町6 52-6212)
産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

■ 30日

外科 吉原病院(南町 52-0780)
石川医院(浅間本町 52-1985)

産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。